

報道関係者各位

西村書店

2016年冬、サンタクロースの人生がついに明らかになる！

クリスマスとよばれた男の子

株式会社西村書店（東京都千代田区、代表取締役：西村正徳）は、イギリスで発売後、22か国が版權を取得し、映画化が決定した話題の児童書『クリスマスとよばれた男の子』を2016年12月1日に発売いたします。本書は「サンタクロースってどんな子どもだったの？」という作者の息子の素朴な質問から生まれました。

ぼくがサンタになっちゃった!? ニコラスの人生を変えた大冒険

11歳のニコラスが、今までのクリスマスにももらったプレゼントはたったの2つだけ。母ちゃんがカブでつくった人形と、父ちゃん手作りのそりです。貧しい父ちゃんは賞金を稼ぐため、エルフが暮らす村をさがしに出かけます。残されたニコラスは意地悪なおぼさんとの暮らしに耐えきれず、父ちゃんのあとを追って北を目指しますが、さまざまな事件に見舞われながらも、前向きに成長していきます。

信じればきつかなう、クリスマスの魔法

本書に描かれるエルフの世界では、「自分の生きかたを見つけたら歳をとらなくなる」ことになっています。人間の男の子であるニコラスはそのためにどれほどの時間と経験とを必要としたのか。サンタクロースの誕生をえがいたこのファンタジーは、現実の世界を生きぬく子どもたちを勇気付けるメッセージとなっています。

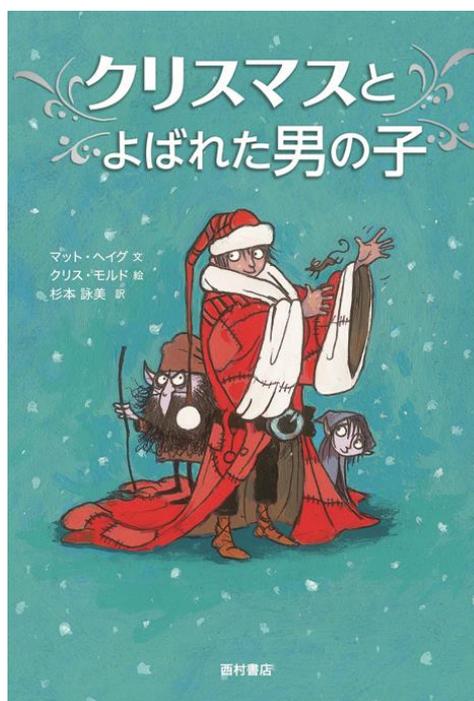
子どもたちやご自身へのプレゼントにもぴったりの、愛すべき新しい古典の誕生です。

●推薦コメント

「現実という痛みも伴いながら、少年がいかにしてサンタクロースになったかを描いたファンタジー」
——児童文学作家・評論家 ひこ・田中

「おとぎ話と民話と面白さが見事にミックスされている」

——イギリスの児童書ベストセラー『Horried Henry』の作者、フランチェスカ・サイモン



●イギリスの子どもたちの感想より

「この世界にも魔法は本当にあるって教えてくれた」(12歳・女子)

「10点中、10点！」(10歳・女子)

「冒険や笑いがたくさんあってすごくエキサイティング！」(11歳・女子)

「すごく面白い。もっともっと読みたかった」(11歳・男子)

●作者マット・ヘイグへのQ&A 一部抜粋

Q2 サンタクロース(ファーザー・クリスマス)に会ったことはありますか？

A2 会ったことはないけど、子どものとき、サンタクロースがプレゼントで靴下をいっぱいにしてくれたのを感じたよ。

Q4 サンタクロースは日本にも来ていますか？

A4 サンタクロースは、彼を信じる人たちみんなのところに来てくれているよ。ぼくはまだ日本に行ったことはないけど、ずっと行きたいって思ってる。



©Jonathan Ring

なお、続編『クリスマスを救った女の子(仮)』は2017年夏刊行予定です。

文： マット・ヘイグ (Matt Haig)

イギリスの作家。大人向けの作品に、『今日から地球人』(早川書房)などの小説やビジネス書がある。児童書作品で、ブルー・ピーター・ブック賞、ネスレ子どもの本賞金賞を受賞、3作品がカーネギー賞候補作に挙げられている。息子に「ファーザー・クリスマスはどんな子どもだったの？」とたずねられたことから、この本の着想を得た。

絵： クリス・モルド (Chris Mould)

イギリスの作家、イラストレーター。文と絵の両方を手がけた作品を多数発表しているほか、『ガチャガチャゆうれい』(ほるぷ出版)など多くの子どもの本のイラストも担当し、ノッティンガム・チルドレンズ・ブック賞を受賞。ケイト・グリーンウェイ賞などの候補に選ばれる。子どものころの自分が喜びそうな本を書くのが楽しみ。

訳： 杉本詠美 (すぎもと えみ)

広島県出身。広島大学文学部卒。おもな訳書に、『テンブル・グランディン 自閉症と生きる』(汐文社、第63回産経児童出版文化賞翻訳作品賞)、「ガラスのうし モリーのおはなし」シリーズ(少年写真新聞社)、『アンドルー・ラング世界童話集』(東京創元社、共訳)など。東京都在住。

発行日：2016年12月5日 ISBN 978-4-89013-977-4 定価：本体1200円+税

文： マット・ヘイグ 絵： クリス・モルド 訳： 杉本詠美 四六判／並製／304ページ

* 小学校5年生以上の漢字にルビ

* イラスト多数掲載

ニコラスはいかにして自分の道を見つけたのか？ 今、サンタクロースの人生がついに明らかになる。おとぎ話と伝説を交えた、愉快で胸にせまる物語。

●作者マット・ヘイグからの日本語メッセージ（QRコードよりアクセス）



●本リリースに関するお問合せ先

株式会社 西村書店（営業担当：福田 編集担当：植村）tokyo@nishimurashoten.co.jp

〒102-0071 千代田区富士見 2-4-6 tel:03-3239-7671 fax:03-3239-7622